

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月31日

計画の名称	伊豆市の良好な生活環境の確保（第2期）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）											重点配分対象の該当
交付対象	伊豆市											
計画の目標	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質保全に資することを目的に、汚水管きょ等の整備を実施し、下水道の普及を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	635	A	635	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	下水道処理人口普及率を53.0%（H27当初）から55.0%（H31）に増加。	下水道処理人口普及率（%） = (処理区域人口(人)) / (行政区域人口:住民基本台帳(人))	下水道処理人口普及率（%） = (処理区域人口(人)) / (行政区域人口:住民基本台帳(人))		53%	54%	55%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

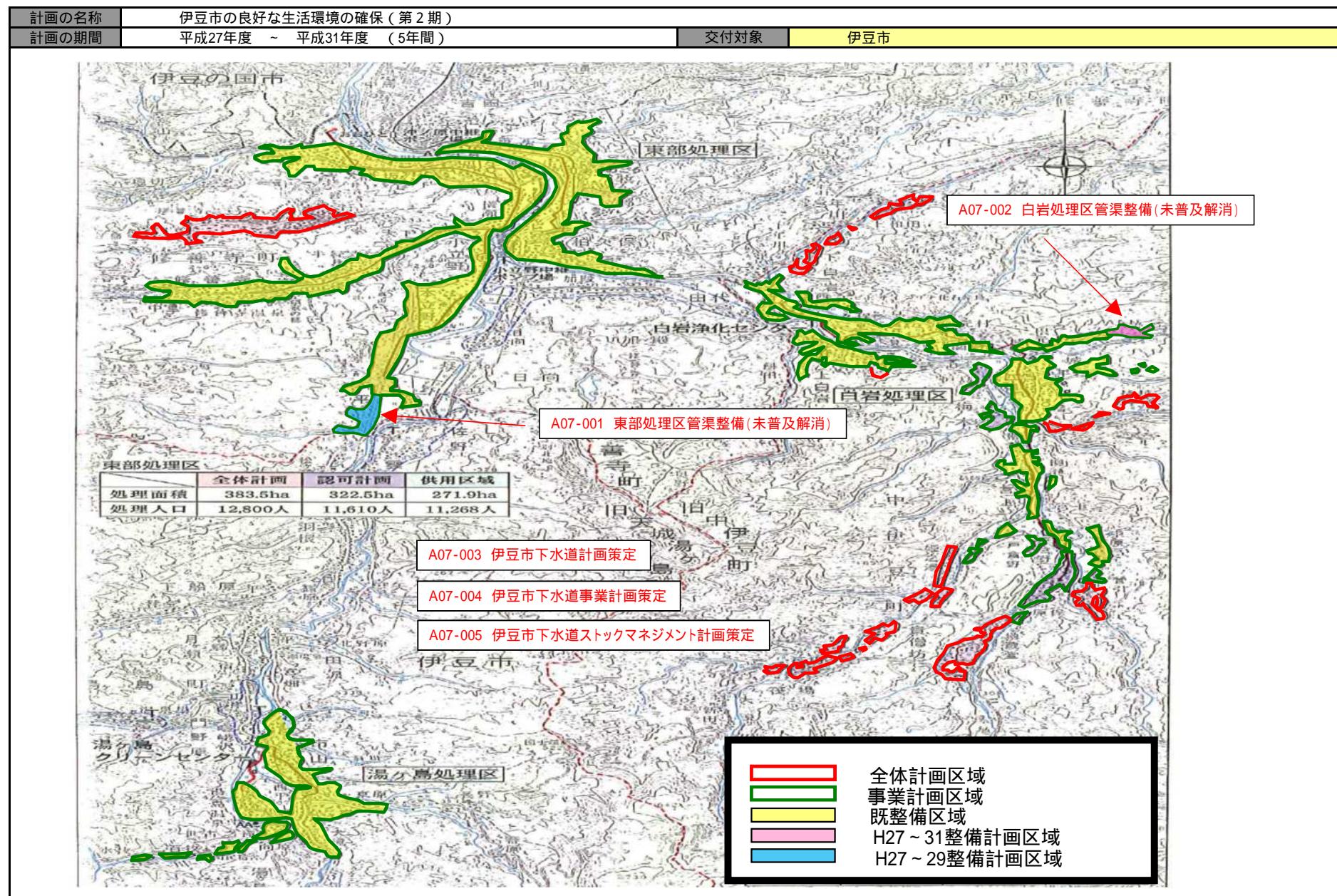
A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	
		一體的に実施することにより期待される効果											H27	H28	H29	H30	H31			
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	管渠(污水)	新設	東部処理区管渠整備(未普及解消)	管路 75~500 L=1,400m	伊豆市						230		-	
	A07-002	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	管渠(污水)	新設	白岩処理区管渠整備(未普及解消)	管渠 75~250 L=2,200m	伊豆市						200		-	
	A07-003	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	-	-	伊豆市下水道計画策定	アクションプラン策定	伊豆市						9		-	
	A07-004	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	-	-	伊豆市下水道事業計画策定	事業計画変更	伊豆市						38		-	
	A07-005	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	-	改築	伊豆市下水道ストックマネジメント計画策定	ストックマネジメント計画策定	伊豆市						158		-	
												小計						635		
												合計						635		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	46	133	139	28	11
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	1	1
交付額 (c=a+b)	46	133	139	27	10
前年度からの繰越額 (d)	0	0	36	66	0
支払済額 (e)	46	97	109	93	3
翌年度繰越額 (f)	0	36	66	0	7
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

(参考様式3) 参考図面 社会資本総合整備計画



事前評価チェックシート

計画の名称：伊豆市の良好な生活環境の確保（第2期）

事 前 評 價	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものになっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>